

Library

2月号2022（令和4）年度



兵庫県立三木東高等学校 図書館 発行

*図書担当の先生方より



図書担当の先生方よりお言葉をいただいたので、紹介します。



本屋さんに行きますと、ありとあらゆる魅力的なタイトルの本があります。手に取ってパラパラとページをくると、なんか本当に賢くなれそうな気がします。

どんなお話なんだろうかと心を揺さぶられます。でも、最近の安価とは思えない価格のことを思うと、「さて、読み切れるだろうか」など、いろいろと思ひ悩んだあげく、結局諦めてしまいます。

図書館も、同じように魅力的なタイトルが沢山並んでいます。しかし、図書館なら、あれこれ思い悩むことなく、「あっ、面白そう！」と思った本は、手当たり次第借りて帰って、とりあえず「試し読み」が出来ます。その「試し読み」をきっかけにして、貴方にぴったりの本と出会うかもしれません。本当に気に入ったものは、それから購入すれば良いと思います。

なんと素晴らしいことでしょう。その本との出会いが貴方の人生を大きく変えることになるかもしれません。

図書館、行ってみませんか？

3年次 図書担当

図書委員の皆さん、1年間お疲れ様でした。責任をもって、図書館の運営を支えてくれましたね。特に印象に残っている活動は、ビブリオバトルです。自分のお気に入りの一冊を紹介する、それだけのことですが本に対する熱い思いが伝わってきました。図書委員の人以外もぜひ読書をして、面白かった本を他の人にすすめてみてください。「読書の世界」が広がるきっかけになると思います。何を読めばいいかわからないという人は、一度図書館に足を運んでみてください。きっと素敵な本を紹介してもらえるとと思います。

1年次 図書担当

文字がたくさん並んでいる本はあまり読みません。気づいたら目が覚める魔法のKOTOBAでしょうか。でも、本屋は嫌いじゃありません。多くのものをAmazonが運んでくれる世の中ですが、本屋の雰囲気は説明できませんが、なんか良い感じです。

「本」という漢字を辞書で調べると「物事のはじまり」という意味があるようです。つまり、「本」を読むということは「何かが始まる！」ということなのかもしれません。「本」を積極的に読まない私がいう話ではないですね。

そんな読書とはかけ離れている私ですが、「Audible」なるサービスは気になっています。要は「本」を朗読してくれるサービスです。何か作業していても音として内容が入ってきてくれるのでは、気になっています、やったことないけど。自分の中にある常識を打ち破ってみると見えるものも変わるんじゃないかなあ？

総務部 図書担当

図書委員の皆さん、一年間ありがとうございました。当番の日に図書館へ行き、入り口にある図書館カレンダーは開館なのに、図書館が閉館の状態の日がありました。そのまま帰らずに職員室へ「今日図書館は開館する日で合っていますか」と言いに来てくれる図書委員がいたことは、うれしくて感動したことでした。図書館の仕事をして7年半になりますが、こんな経験は初めてでした。就職担当の藤澤先生に「本校図書館は本が多いですか」「図書館を利用する生徒は多いですか」という質問を受けたことがありました。お話をする中で、藤澤先生が「良かった。本も多いし、図書館を利用しているんですね。」と安心された様子でした。図書委員作成の「返却日お知らせカード」のおかげで返却日を過ぎる生徒もほとんどいません。友達と図書当番に来てくれる生徒。本と本棚の間のほこりをきれいに落としてくれる生徒。図書委員作成のポスターで図書館利用者も増えました。

一年間、ありがとうございました。

総務部 尾住

*図書館からのお知らせ

図書購入希望用紙にご記入いただいた皆さん、ご協力ありがとうございました。「いま読みたい本」が分かり、参考になりました!おかげでたくさんの本が、図書館に入る予定です。

*おすすめの一冊



「罪の声」

(塩田 武士 著 講談社 2016年8月)

映画化もされた作品なので、タイトルを聞いたことのある人も多いと思います。

グリコ森永事件を題材に書かれた本です。未解決のこの事件を意外な角度から書かれている作品で、子供の記憶を描写した場面が特に印象に残りました。

読みながら想像していたよりも、著者が若いことにも驚いています。著者の年齢も経歴も後から知りましたが、過去には神戸新聞社の記者をされていたようです。「記事を書くためには、まず予習してインタビューして、そして重要なところを整理して。こういう手順は今も基礎になっていますね」(過去の神戸新聞・「週刊まなびー」より)

塩田さんの本を読んだことのない方にも一度開いてもらえたらと思います。

(図書担当 尾住)